

# 2018年3月期 第3四半期 決算説明資料

相鉄ホールディングス株式会社

2018年2月1日

<http://www.sotetsu.co.jp/ir/index.html>  
証券コード【9003】

# 2018/3期 第3四半期 決算の概要【B/S】

連結財政状態

(百万円)

	2017年 3月末	2017年 12月末			摘要
			増減額	増減率(%)	
流動資産	73,808	57,841	△15,967	△21.6	現金及び預金△9,060
固定資産	505,891	507,276	+1,385	+0.3	
資産合計	579,699	565,117	△14,581	△2.5	
流動負債	143,423	111,752	△31,671	△22.1	1年以内償還社債△12,000、短期借入金△4,593
固定負債	307,741	313,384	+5,642	+1.8	長期借入金+6,711
負債合計	451,165	425,136	△26,028	△5.8	
純資産合計	128,534	139,981	+11,446	+8.9	
負債・純資産合計	579,699	565,117	△14,581	△2.5	
自己資本	125,965	137,342	+11,377	+9.0	
自己資本比率(%)	21.7	24.3	+2.6	—	
有利子負債	309,799	299,917	△9,882	△3.2	

# 2018/3期 第3四半期 決算の概要【P/L】

## 連結経営成績

(百万円)

	2017/3 第3四半期	2018/3 第3四半期	増減 (%)	摘要
営業収益	191,349	197,647	+6,297 (+3.3%)	運輸業+251 流通業△366 不動産業+5,244 ホテル業+1,673 その他△293
営業利益	25,574	26,100	+526 (+2.1%)	運輸業△81 流通業△258 不動産業+817 ホテル業+99 その他△14
経常利益	23,398	24,593	+1,195 (+5.1%)	営業外収益+21 営業外費用△647
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	14,824	15,681	+856 (+5.8%)	
1株当たり 四半期純利益	151.27円	160.03円	+8.76円	2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っているため、1株当たり四半期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

# 2018/3期 第3四半期 セグメント別決算【運輸業】

## 運輸業

(百万円)

	2017/3 第3四半期	2018/3 第3四半期	増減 (%)	摘要
営業収益	29,380	29,631	+251 (+0.9%)	鉄道業輸送人員増により増収
営業利益	7,409	7,327	△81 (△1.1%)	減価償却費の増加、電気動力費等の経費の増加により減益
〈鉄道業〉				
輸送人員	千人	千人	増減率(%)	
定期外	60,300	60,592	+0.5%	【定期】 通勤+1.1% 通学+0.2%
定期	113,946	115,028	+0.9%	
計	174,247	175,620	+0.8%	
旅客収入	百万円	百万円	増減率(%)	
定期外	11,802	11,878	+0.6%	【定期】 通勤+1.1% 通学+0.4%
定期	11,677	11,799	+1.0%	
計	23,479	23,677	+0.8%	

# 2018/3期 第3四半期 セグメント別決算【流通業】

流通業

(百万円)

	2017/3 第3四半期	2018/3 第3四半期	増減 (%)	摘要
営業収益	82,818	82,452	△366 (△0.4%)	砂利類販売業譲渡により減収
営業利益	1,869	1,611	△258 (△13.8%)	スーパーマーケット業の費用の増加により減益

スーパーマーケット業売上高 既存店比 +0.7%

# 2018/3期 第3四半期 セグメント別決算【不動産業】

不動産業 (百万円)

	2017/3 第3四半期	2018/3 第3四半期	増減 (%)	摘要
営業収益	43,572	48,817	+5,244 (+12.0%)	
営業利益	11,713	12,531	+817 (+7.0%)	
〈分譲業・賃貸業別〉				
【分譲業】 営業収益	14,520	18,646	+4,125	1戸当たり販売価格の上昇により増収 増収要因により増益
営業利益	1,215	1,668	+453	
【賃貸業】 営業収益	29,239	30,360	+1,120	事業用地売却収入により増収 増収要因により増益
営業利益	10,497	10,862	+364	

(戸)

【分譲戸数】	2017/3 第3四半期	2018/3 第3四半期	増減	摘要
マンション	241	219	△22	(主な引渡物件) 「ザ・パークハウス西新宿タワー60」 「グレースィアシティ川崎大師河原」
戸建	27	10	△17	
計	268	229	△39	

# 2018/3期 第3四半期 セグメント別決算【ホテル業】

## ホテル業

(百万円)

	2017/3 第3四半期	2018/3 第3四半期	増減 (%)	摘要
営業収益	29,227	30,901	+1,673 (+5.7%)	「相鉄フレッサイン銀座七丁目」「相鉄フレッサイン京都四条烏丸」 「相鉄フレッサイン京都駅八条口」「相鉄フレッサイン東京六本木」他の開業により増収
営業利益	4,039	4,138	+99 (+2.5%)	

【客室稼働率・平均客室単価】		2017/3 第3四半期	2018/3 第3四半期	増減
客室稼働率 (%)	相鉄フレッサイン	88.3	89.7	+1.4pt
	サンルート(※)	85.5	87.8	+2.3pt
	横浜ベイシェラトン	92.1	89.1	△3.0pt
平均客室単価 (円)	相鉄フレッサイン	9,549	9,666	+117 (+1.2%)
	サンルート(※)	10,456	10,255	△201 (△1.9%)
	横浜ベイシェラトン	18,281	19,867	+1,586 (+8.7%)

(※) サンルートの客室稼働率・平均客室単価は、直営ホテル・運営受託ホテル店舗の指標であり、フランチャイズ店舗を含んでおりません。

# 2018/3期 第3四半期 セグメント別決算【その他】

その他

(百万円)

	2017/3 第3四半期	2018/3 第3四半期	増減 (%)	摘要
営業収益	15,794	15,501	△293 (△1.9%)	保育事業譲渡により減収
営業利益	470	456	△14 (△3.0%)	



# 2018/3期 予想【P/L】

## 連結業績予想

(百万円)

	2017/3 実績	2018/3 予想	増減 (%)	摘要	11月時点 予想	増減 (%)
営業収益	253,363	262,000	+8,636 (+3.4%)	運輸業+383 流通業△3,266 不動産業+9,194 ホテル業+1,960 その他+83	262,400	△400 (△0.2%)
営業利益	30,510	29,800	△710 (△2.3%)	運輸業△92 流通業△62 不動産業+10 ホテル業△314 その他△155	29,000	+800 (+2.8%)
経常利益	27,558	27,700	+141 (+0.5%)	営業外収益+9 営業外費用△842	26,700	+1,000 (+3.7%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	17,061	17,100	+38 (+0.2%)		16,600	+500 (+3.0%)
1株当たり 当期純利益	174.10円	174.51円	+0.41円	2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合 で株式併合を行っているため、1株当たり当期純利益に ついては、当該株式併合の影響を考慮しております。	169.41円	+5.10円
設備投資	20,678	41,158	+20,480 (+99.0%)	運輸業+2,004 流通業+1,112 不動産業+16,413 ホテル業+482 その他+467	41,158	— (—%)
減価償却費	16,011	16,323	+312 (+2.0%)		16,308	+14 (+0.1%)

# 2018/3期 セグメント別 予想【運輸業】

## 運輸業

(百万円)

	2017/3 実績	2018/3 予想	増減 (%)	摘要	11月時点 予想	増減 (%)
営業収益	38,916	39,300	+383 (+1.0%)	鉄道業輸送人員増により増収	39,200	+100 (+0.3%)
営業利益	8,392	8,300	△92 (△1.1%)	減価償却費の増加、電気動力費等の経費の増加により減益	8,200	+100 (+1.2%)
設備投資	8,559	10,563	+2,004 (+23.4%)	(2018/3予想の主な内容) 電車代替、デザインブランドアッププロジェクトに伴う車両・駅舎のリニューアル、二俣川駅増築工事、弥生台駅リニューアル、星川・天王町駅付近連続立体交差事業他	10,563	— (—%)
減価償却費	6,134	6,473	+338 (+5.5%)		6,356	+117 (+1.8%)
〈鉄道業〉						
輸送人員 定期外 定期 計	千人 80,107 <u>149,969</u> 230,077	千人 80,456 <u>151,447</u> 231,904	増減率(%) +0.4% +1.0% +0.8%	【定期】通勤+1.2% 通学+0.3%	千人 80,293 <u>150,968</u> 231,261	増減率(%) +0.2% +0.3% +0.3%
旅客収入 定期外 定期 計	百万円 15,674 <u>15,477</u> 31,151	百万円 15,773 <u>15,639</u> 31,412	増減率(%) +0.6% +1.1% +0.8%	【定期】通勤+1.1% 通学+0.9%	百万円 15,726 <u>15,582</u> 31,309	増減率(%) +0.3% +0.4% +0.3%

# 2018/3期 セグメント別 予想【流通業】

## 流通業

(百万円)

	2017/3 実績	2018/3 予想	増減 (%)	摘要	11月時点 予想	増減 (%)
営業収益	109,266	106,000	△3,266 (△3.0%)	砂利類販売業譲渡により減収 スーパーマーケット業は売上増加により増収	105,300	+700 (+0.7%)
営業利益	2,262	2,200	△62 (△2.8%)	砂利類販売業譲渡により減益	2,100	+100 (+4.8%)
設備投資	912	2,024	+1,112 (+121.9%)	(2018/3予想の主な内容) ローゼン店舗新設(弥生台駅前店他) 他	2,024	— (—%)
減価償却費	875	898	+23 (+2.7%)		900	△1 (△0.2%)

スーパーマーケット業売上高 既存店比 +0.8%

# 2018/3期 セグメント別 予想【不動産業】

## 不動産業

(百万円)

	2017/3 実績	2018/3 予想	増減 (%)	摘要	11月時点 予想	増減 (%)
営業収益	57,905	67,100	+9,194 (+15.9%)		68,000	△900 (△1.3%)
営業利益	14,989	15,000	+10 (+0.1%)		14,600	+400 (+2.7%)
設備投資	6,437	22,851	+16,413 (+255.0%)	(2018/3予想の主な内容) 二俣川駅南口再開発、弥生台駅前街区リノベーション	22,851	— (—%)
減価償却費	6,798	6,892	+93 (+1.4%)		6,979	△87 (△1.2%)
〈分譲業・賃貸業別〉						
【分譲業】 営業収益	19,271	27,600	+8,328	マンション販売戸数の増加により増収	28,500	△900
営業利益	1,686	2,100	+413		1,700	+400
【賃貸業】 営業収益	38,844	39,800	+955	事業用地売却収入により増収 経費の増加により減益	39,700	+100
営業利益	13,303	12,900	△403		12,900	—

(戸)

【分譲戸数】	2017/3 実績	2018/3 予想	増減	摘要	11月時点 予想	増減
マンション	275	352	+76	(主な物件)「ザ・パークハウス西新宿タワー60」	363	△11
戸建	44	20	△24		20	—
計	319	372	+52		383	△11

# 2018/3期 セグメント別 予想【ホテル業①】

## ホテル業 (百万円)

	2017/3 実績	2018/3 予想	増減 (%)	摘要	11月時点 予想	増減 (%)
営業収益	38,839	40,800	+1,960 (+5.0%)	新規店舗開業（「相鉄フレッサイн京都四条烏丸」他計7店舗）により増収	40,600	+200 (+0.5%)
営業利益	4,414	4,100	△314 (△7.1%)	既存店の減収ならびに改装費用および新店準備費用の増加等により減益	3,600	+500 (+13.9%)
設備投資	4,632	5,115	+482 (+10.4%)	(2018/3予想の主な内容) 「相鉄フレッサイн大阪淀屋橋北浜」「相鉄フレッサイн上野御徒町」新設 他	5,115	— (—%)
減価償却費	1,918	1,978	+59 (+3.1%)		1,985	△7 (△0.4%)

【客室稼働率・平均客室単価】		2017/3 実績	2018/3 予想	増減	摘要	11月時点 予想	増減
客室稼働率 (%)	相鉄フレッサイн	88.4	88.4	—pt		87.9	+0.5pt
	サンルート(※)	85.0	86.5	+1.5pt		86.2	+0.3pt
	横浜バイシェラトン	87.2	84.8	△2.4pt		85.8	△1.0pt
平均客室単価 (円)	相鉄フレッサイн	9,478	9,499	+21 (+0.2%)		9,484	+15 (+0.2%)
	サンルート(※)	10,353	10,240	△113 (△1.1%)		10,201	+39 (+0.4%)
	横浜バイシェラトン	18,190	19,880	+1,690 (+9.3%)		19,760	+120 (+0.6%)

(※) サンルートの客室稼働率・平均客室単価は、直営ホテル・運営受託ホテル店舗の指標であり、フランチャイズ店舗を含んでおりません。

# 2018/3期 セグメント別 予想【ホテル業②】

## 宿泊特化型ホテル 開業予定

	名称 (*は相鉄グループ保有物件)	所在地	客室数	開業予定日
〈フレッサイн〉				
24号店	相鉄フレッサイн 東京神田	東京都千代田区	115室	2018年3月15日
開業準備中(25)	(仮称) 相鉄フレッサイн 大阪淀屋橋北浜*	大阪市中央区	243室 (予定)	2018年春
開業準備中(26)	(仮称) 相鉄フレッサイн 大阪心斎橋*	大阪市中央区	175室 (予定)	2018年冬
開業準備中(27)	(仮称) 相鉄フレッサイн 大阪なんば	大阪市浪速区	276室 (予定)	2019年夏
開業準備中(28)	(仮称) 相鉄フレッサイн 名古屋駅前	名古屋市中村区	250室 (予定)	2020年春
開業準備中(29)	(仮称) 相鉄フレッサイн 神戸三宮*	神戸市中央区	271室 (予定)	2019年秋
〈個室簡易型ホテル〉				
開業準備中	(未定) *	京都市中京区	147室 (予定)	2018年秋
〈海外〉				
開業準備中	(未定)	大韓民国ソウル特別市	430室	2018年2月15日

# 2018/3期 セグメント別 予想【その他】

その他

(百万円)

	2017/3 実績	2018/3 予想	増減 (%)	摘要	11月時点 予想	増減 (%)
営業収益	21,416	21,500	+83 (+0.4%)		21,900	△400 (△1.8%)
営業利益	355	200	△155 (△43.8%)	浄水器事業の費用の増加等により減益	500	△300 (△60.0%)
設備投資	135	603	+467 (+344.7%)		603	— (—%)
減価償却費	409	203	△205 (△50.2%)		210	△6 (△3.0%)



**SOTETSU**

ときめきとやすらぎをつなぐ

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご了承ください。